

中学校
2年

産業革命が社会に与えた影響を 多角的・多面的にまとめよう！

八尾市立成法中学校

教科

社会

単元名

歴史的分野「近代の日本と世界」

本時のねらい

- ・産業革命の進展、および革命後の社会に及ぼした影響について資料を基にまとめることができる。
- ・産業革命によって広まった資本主義経済について、現代の社会と関連付けながら考察できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・本時では、班活動を中心に協働学習を行い、資料から必要な情報を読み取り、意見交流を進める中で学びの本質の部分に迫っていけるようにする。ロイロノートを使うことで、考えたことや交流したことを視覚的に明らかにし、学習内容をスムーズに確認できるようにする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノート（共有ノート）
- ・NHK for school

本時の展開

本時で育む主な情報活用能力

G-STEP 3, J-STEP 4
K-STEP 4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○単元を貫く問いを確認する。 「なぜペリーは日本に来航し、日本を開国させようとしたのか」 ○学習計画表を確認し、記入する。 ○本時のめあてを確認する。	
	産業革命は社会にどのような影響を与えたのか説明しよう！	
展開 (40分)	○産業革命とは何か、どのような流れで進んだのかを理解する。【写真1】 ○産業革命が社会に与えた影響について考察する。 ・ループブックを参考にして具体的に記入する。【写真2】	○流れについては、ロイロノートでカードをつなげるように整理して、理解しやすいようにする。 ○生徒が自分の端末から他の班の活動を随時確認できるようにすることによって、他者の意見も取り入れながら多角的に考察を深めることにつなげる。 ※必要に応じて、NHK for schoolの動画なども見られるようにしておく。
まとめ (5分)	○単元を貫く問い・本時のめあてを確認しながら、本時の自分の学びを学習計画表を用いて振り返る。【写真3】	○学習計画表を活用することで、単元を貫く問いと本時のめあてを常に確認することができ、単元の学習を振り返りやすくしている。

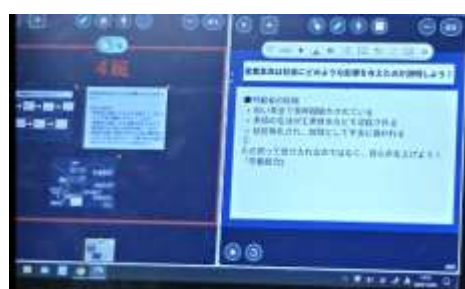
1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】産業革命の流れを共有ノートで確認している様子



【写真2】産業革命が社会に与えた影響を考察している様子



【写真3】産業革命が社会に与えた影響を個人でまとめている様子

児童生徒の反応や変容

- ・産業革命が社会に与えた影響について、共有ノートを用いて協働で課題に取り組む活動であったが、どのように学びを進めるのか、授業者からは具体的に指示をしなかった。しかし、生徒たち自身が適切なシンキングツールを選択・活用し、他者参照をしながら、複数の資料を整理・比較し、情報を多面的・多角的に考察する力を発揮していた。さらに産業革命による社会の変化により、現代社会のしくみや課題につなげて思考することができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・産業革命による社会の変化の全てを網羅することは難しいが、様々な資料を用意することで多面的な見方ができるように配慮した。また、共有ノートを用いて、他の班の活動をいつでも確認できるようにすることで、班のメンバーだけでは気づけない視点などに着目できるようにした。
- ・単元を貫く問いを設定し、本時の課題と単元を貫く課題の関連性を意識し、問い続ける授業方法により、歴史の連続性を感じながら思考できる授業づくりを意識している。